

複合福祉施設「すみれの家」P/J

障 害 者 ・ 高 齢 者

安城市“共生型事業”のご紹介

「すみれの家」複合福祉施設の市場ニーズ調査結果

①障がい者グループホーム

- ・安城市福祉部障害福祉課
- ・社会福祉法人ぶなの木福祉会(安城市)

安城市における障がい者グループホームは不足

②住宅型有料老人ホーム

- ・社会福祉法人 長寿会

長寿会では現在も住宅型有料老人ホームへの入居の順番待ちが多い状況

③福祉ハウス

- ・特定非営利法人 フィリアの会(安城市)
- ・社会福祉法人ぶなの木福祉会(安城市)

障がい者の緊急受入れ施設の拡充を希望、ニーズ高い

複合福祉施設について

複合福祉施設組合せ

- ①障がい者グループホーム
- ②住宅型有料老人ホーム
- ③地域交流イベントスペース

複合福祉施設の意義

- ①INOACの素材、部材及び完成品が3種類の施設に応用できることを示せる
- ②業界では新しい組合せ。業界で注目を集める可能性有り。
- ③親子でも活用可能。8050問題に対応。
- ④2025年をピークに高齢者は減少、しかし障害者は増加。

安城市栗の木に設置する意義

- ①安城市に障がい者施設が少ない。
- ②安城更生病院に近い
- ③地域貢献

「すみれの家」～複合福祉施設概要

複合福祉施設（場所：安城市栗の木 約1950m²）

- ①障がい者グループホーム : 木造2階建て1棟 合計20居室
- ②住宅型有料老人ホーム : 木造2階建て1棟 合計20居室
- ③地域交流イベントスペース

仕様

建築工法：サーマックスを用いた真壁式外断熱パネル（安全、快適）

居室：イノアックリビング製品（ベット、マットレス、チェストボード、衝撃吸収床材）

共用部：HUKLA製品（ソファ、テーブル、椅子）

プロジェクト関連会社

運営会社：株式会社フュージョン（名古屋市熱田区）

コンサル：(株)トリニティーパートナーズ（名古屋市熱田区）

設計会社：(株)空建築事務所（名古屋市東区）



グループホーム

有料老人ホーム

共生型複合施設

イベントスペース



計画地：愛知県安城市安城町栗の木33-3
 第1種低層住居専用地域 60/100
 容積率限度：4.5m²×0.4=1.8 (>100%)
 角地緩和適用なし
 北側斜線：S+1.25d
 道路斜線：1.25d
 壁面後退：1.0m
 高さ制限：10m

障がい者グループホーム
 木造 2階建て
 本体建築面積：314.77m²
 延床面積：18.00m²
 建築面積：332.77m² (38.99%<60%)
 本体延べ面積：298.00m²+298.00m²=596.00m²
 延床面積：18.00m²
 延床面積：614.00m² (71.20%<100%)

住宅型有料老人ホーム
 木造 2階建て
 本体建築面積：335.00m²
 延床面積：7.40+19.30=26.70m²
 建築面積：361.70m² (40.52%<60%)
 本体延べ面積：324.00m²+297.00m²=621.00m²
 延床面積：8.80+5.60=14.40m²
 延床面積：635.40m² (71.18%<100%)

$A = d / h \times 6 - 1.4$
 $h = 4.70$
 $13.00m / 7 = 1.86m$
 窓1.75x1.80=3.15m²
 $A = 0.60$ 以上
 $d = 1.57m$ 以上

防火上主要な間仕切壁 (1時間耐火性能仕切壁)
 壁ガードを上階床下、屋根裏まで補上げ (任意適合対象)
 1階の防火上主要な間仕切り壁設置範囲の上階床 (黒色部画) は木造1時間耐火性能床 (天井対面) とする。

1階平面

全世代に公平な生き方の選択を
機会の創造拠点に